

長大学生が突撃インタビュー! /

小学2年生の時の感動が原点 重要なのは自分との対話

今や漫画だけでなく、アニメ、映画、舞台と様々な媒体で愛されている『弱虫ペダル』。

その作者である渡辺航さんにインタビューさせていただきました。



インタビューの
上野千鶴さん

WATANABE Wataru

長崎県出身。3月9日生まれ。MTBやロードバイク、小径車など自転車をこよなく愛する生粋のサイクリスト。『弱虫ペダル』連載を続けながら多数のアマチュア自転車レースにも参戦。週刊少年チャンピオンにて『弱虫ペダル』、別冊少年チャンピオンにて『弱虫ペダルSPARE BIKE』を連載中!



漫画「弱虫ペダル」作者 渡辺航氏

夢を追いかけるか、 堅実に生きるか

下窄 / 高校1年生の時に投稿した漫画で賞を取ったと伺いました。それでも大学に進学したのはなぜですか。

渡辺 / まず、賞を取ったからといってすぐに漫画家になれるわけではないんです。自分の中では、賞を取ればポンっとすぐに漫画家になれ

るのかなと思っていたのですが、当然うまくいきませんでした。それから、高校卒業後の進路を考えたときに、夢みたいなのを言っている、勉強して大学に進学するという『ちゃんとした』状態にならないといけない、という空気を感じて、大学に入りました。

下窄 / 長崎大学卒業後、地元企業に入社するも、漫画家になるために上京しようと思ったきっかけは何でしょうか。

渡辺 / 大学生時代は、単位を取って学年が上がることで、毎年、自分自身が明確にステップアップしますよね。でも、社会人になると、停滞感を抱くようになりました。地元企業に勤めていて悪いことは何もないけれど、社会に出てからステップアップしていない自分を俯瞰で見たとき、それが60歳まで続くのかという絶望感もありました。そのような中で、自分には漫画があることに気がつきました。『チャンスがあるんだったら賭けてみようか』という気持ちで上京しました。

自分との対話から 見えてきたもの

上京後、憧れの少年誌で担当編集者が付くも、20代後半で「少年誌には合わない」と“戦力外通告”を受けた渡辺さん。同じ出版社の青年誌を紹介されたそうです。

下窄 / “戦力外通告”をされた時、どう感じましたか。

渡辺 / 半年くらい漫画が描けなくなりました。思い悩んで、自分と対話した時に出てきた答えは「やっぱり少年誌で描きたい」でした。その後、違う少年誌に読み切りが掲載されて、連載が始まるという経緯です。だから、自分が何をしたいのかを常に考えておかないといけない。自分との対話がとても大事です。その一方で、頼まれたことや、やらされていることに対して「自分のやりたいことではない」と跳ね除けるのはもったいない。頼み事をされるということは、あなたの能力が見込まれているということなので、絶対にやった方がいいと思います。その上で、自分にとっての分岐点がやってきたとき、常に自分と対話をしていると、自然と

進む道が見えてきます。

下窄／漫画家になったと実感したのはいつですか。

渡辺／漫画家って、連載してても次の月に連載打ち切りを告げられたら連載終了するシビアな世界なんです。みんなが喜ぶ面白い漫画を描くためには、とても練習しないと行けないし、積み上げが必要。でも、時々、絵が上手く、自分の思い通りに表現でき、読者とも感覚が一致するという天才もいます。そういう人はとても稀有な存在です。ところが、漫画家になるうとする人の多くは、自分もそうなれると思って漫画を描き始める。そして、途中で、「理想としていた漫画家にはなれない」と気付くんです。でも、勝負はそこから。一度全部諦めてからが勝負。実はそれがとても重要です。僕もそんな経験をへて、今、『弱虫ペダル』が皆さんに認知されています。非常にありがたいです。

下窄／漫画家になった今、目標や夢はありますか。

渡辺／今、全力で漫画を描くことができているので、これを毎日続ける。まじめに真摯に読み手がドキドキする作品を描き続けることが理想です。

4年間すべての感情が、今の糧に

下窄／大学生の頃の経験は今に活かされていますか。

渡辺／何かを表現する職業の人は全員そうだと思いますが、基本的には人生の切り売り

自分との対話、
意外と出来ていないことだと思いました。
心がけたいです!



今回のインタビューは
オンラインでおこない
ました!

経済学部2年
下窄千夏

なんです。どの先生のゼミに入るか悩んだことや、学生係のアルバイトに申し込んだときのこと。大学生活の中で考えたこと、感じたことすべてが漫画を描くうえでの血肉になっています。大学時代の経験が無ければ描けていないシーンも、たくさんあったと思います。

下窄／最後に、卒業生に向けてメッセージをお願いします。

渡辺／私の場合、小さい頃の夢や、なりたかったもの、したかったことが自分の源流になっています。鳥山明先生の『Dr.スランプ』のコミックスを初めて読んだ時の「こんな面白いものがあるんだ」「こんな本を作りたい」という思いが原動力なんです。皆さんも、小さいころ好きだったものを掘り返して、社会に出てからもその気持ちを忘れずに、好きなことを続けていってください。

下窄／お忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。



「弱虫ペダル」最新第71巻 大好評発売中!!

総北高校自転車競技部では5日間の夏休みが明け、
遂に部活動が再開!!
坂道や今泉、鳴子たちの3年目の物語が幕を開ける!!
一方、箱根学園でも動きが…!?



渡辺さんの言葉に
心が動かされました。
これからも頑張ります。

長大出身の先輩たち



下村 脩 SHIMOMURA Osamu

(1928~2018)

2008年ノーベル化学賞受賞

薬学部 (旧:長崎医科大学附属薬学専門部)

企業TOP

大日本コンサルタント

代表取締役
社長執行役員
新井伸博
工学部



丸大食品

代表取締役社長
井上俊春
水産学部



上原成商事

代表取締役社長
上原晋作
経済学部



西部ガス

代表取締役
副社長執行役員
太田 良
経済学部



カネミツ

代表取締役社長
金光俊明
工学部



双日九州

代表取締役社長
香田篤志
経済学部



ヴァレージヴァンガード コーポレーション

代表取締役社長
白川篤典
経済学部



ダイソーケミックス

代表取締役
執行役員社長
永松真一
工学部



※掲載五十音順

福岡中央銀行

代表取締役頭取
古村至朗
経済学部



ひびきエル エヌ・ジー

代表取締役社長
村瀬廣記
工学部



活躍中の先輩たち

秋野公造 参議院議員
医学部

中村明俊 「聖水」で第124回芥川賞を受賞。ペンネームは青来有一
教育学部

草場道輝 『週刊少年サンデー』で連載中の長大水産学部を舞台にした漫画『第九の波濤』の作者
水産学部

中村法道 2010年より長崎県知事
経済学部

国光あやの 衆議院議員
医学部

福地茂雄 アサヒビール社長・会長、日本放送協会(NHK)会長などを歴任
経済学部

富岡勉 衆議院議員
医学部

藤原謙次 ローソン、ファンケル、カカクコム、サンドラッグなどにおいて重要ポストを歴任
経済学部